


Taka Gikai



 多可町議会だより
2023年(令和5年)2月1日 第69号

わたしが先よ
ぼくが先

12月定例会

- ・民でできることは民へ ▶ 2
- ・地域医療を守れ ▶ 3
- ・みんなで考えよう議会改革 ▶ 6~9
- ・ここが聞きたい 13人が一般質問 ▶ 10

民でできることは民へ

春蘭荘 民間移譲



新たな活用を期待

令和4年12月2日から12月23日までの22日間の日程で第118回多可町議会定例会を開催しました。
定例会では松井庄診療所が指定管理者制度に移行する議案や、春蘭荘を無償で丹治集落に譲渡する議案、町職員の定年延長に関する条例の改正などの議案が提出されました。
また、出産・子育て応援交付金や通園バス置き去り防止安全装置設置の一般会計補正予算など34案件が提案され、慎重審査の上、すべての議案を可決しました。

丹治集落へ 無償譲渡

老人福祉センター「春蘭荘」を地元の丹治集落に無償譲渡するため、本条例を廃止し、普通財産へと変更します。
春蘭荘は元年度から町直営で管理してきま

したが、利用者の減少は著しく、費用対効果の面からも継続するのは難しいと判断して、4年度より休館していただきました。
地元の丹治集落より活用したいと相談があり、協議、調整を重ね無償譲渡することになりました。

Q 利用の具体的な計画はできているのですか。

A ふれあいイベント、里山づくり、薪づくりの拠点として活用を検討されています。

Q 施設を譲渡するにあたって、おもいで荘と同様に解体費用を付けて渡すのですか。

A 解体費用付きです。

Q 統合後の加美中学校、八千代中学校も同じ対応になりますか。

A 案件ごとの判断になります。学校の場合は、まずは関係集落と協議することになります。

公務員も65歳へ 定年延長

町職員の定年等に関する条例改正
令和3年の地方公務員法改正で、5年度から地方公務員の定年年齢の段階的な引き上げや、管理職として勤務する上限年齢を定める役職定年制度が導入されることに伴い、条例の一部を改正します。

Q 定年が延びることのメリットとデメリットは。

A 培ってきた事務能力を発揮してもらうとともに、後任の指導にあたってもらえるのがメリットと考えます。デメリットは特にありません。

Q 定年延長になるとで年金や退職金が増えますか。

A 働いていると掛け金が増えるので、両方とも多少ですが増える認識しています。



一層の住民サービスを

地域医療を守れ

松井庄診療所 大山記念病院を指定管理者に



新たなスタート

町から民間へ 運営移行

診療所条例の改正
現行の条例に、指定管理者で管理をすることと指定管理者の業務を追加します。
令和5年4月から松井庄診療所を大山記念病院が指定管理者として診療を継続します。

Q 診療所が担っていた業務は、すべて引き継がれるのですか。

A 診療所業務を今までと同様に運営してもらいます。指定管理者制

Q カルテなどの診療データはどのように扱われますか。

A データの取り扱い業務を引き継いでいきますので、指定管理が終了した際には町に返還されます。

Q 北はりま絆ネットはどうなりますか。

A 絆ネットは今ままでおり使用できます。

Q 送迎バスは運行されるのですか。

A 今後検討されると聞いています。

個人情報 保護法制一元化

個人情報保護
条例制定
令和3年5月に公布された「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」で、個人情報保護法が改正され、個人情報保護法、行政機関個人情報保護法などの法律が個人情報保護法に統合されました。

この法律に基づいて運用していくため、新たに法律施行条例を定めます。

Q これまでの個人情報保護条例と何が変わるのですか。

A 本質的には何も変わりませんが、全国的な共通ルールが法律で設定されます。

Q 個人情報ファイル簿の公表が必要となっていますが、どのような

公表が必要となるかは、条例で定められます。

議員発議で 条例制定

議会も個人情報保護条例制定
地方公共団体の執行機関に直接適用される個人情報保護法の規定が、地方議会には適用の対象外となります。

このため議会でも個人情報の取扱規定が必要となるため「多可町議会の個人情報の保護に関する条例」を制定します。

議会は提言する

今後、少子高齢化が進む中で将来の多可町の姿は縮小していく可能性があります。地域の活力を維持し、行政のできることの大きさを持続可能な範囲にとどめるためには、大きな改革を進めていかなければなりません。

これからも出てくる

遊休施設の活用や、地域医療を守るために民間との連携が重要になってきます。
財政の豊かでない多可町では「官から民へ」を徹底することで、民でできることは民に任せ、行政は本来に必要なことがある業務を進めていくことが重要です。

これからも議会は民

でできるものは民での政策提言をしていきます。

物価高に負けるな

第117回 臨時会

令和4年11月2日に開催されました。

日々の暮らしを応援

生活支援商品券給付

1億368万円
物価高騰での家計への影響を考慮し、すべての住民に生活支援と町内事業者の経済的支援を目的として、1人当たり5千円分の商品券を配布します。

Q どのような商品券ですか。
A 町内でのみ使える「多可町共通商品券」です。

Q 年末を迎えるので12月中の配布ができませんか。
A 対象となる妊婦・子育て家庭は、令和4年4月1日以降に妊娠・出産された人たちです。



補正予算

子育て世帯を応援

出産・子育て 応援交付金

1210万円
国の「出産・子育て応援交付金」を活用し、妊娠届出や出生届出をした妊婦・子育て家庭に対し、経済的支援として計10万円を支給します。

Q 対象になる妊婦・子育て家庭は、令和4年4月1日以降に妊娠・出産された人たちです。

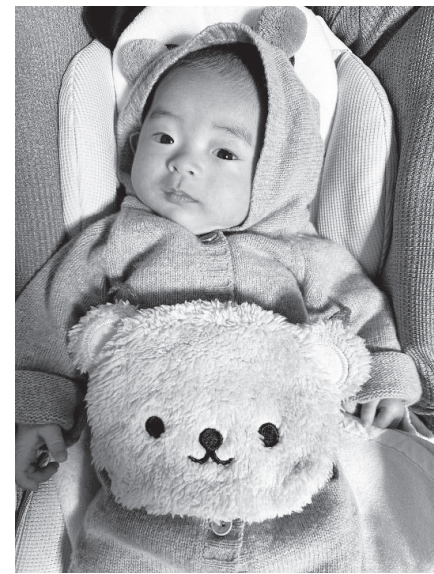
Q どのような支援になるのですか。
A 妊娠期の出産応援ギフトとして5万円、出産時に育児応援ギフト5万円を支給して、子育て家庭を支援します。

Q すでに産まれた子どもたちは5万円だけの支給になるのですか。
A 一括で10万円支給します。

Q いつから支給するのですか。
A 令和5年1月から準備ができ次第支給します。

少子化克服へ

妊娠・出産・育児を全力でサポート



すくすく育て

大切な園児を守れ

通園バス置き去り 防止安全装置設置

148万円
静岡県での保育園のバスに園児が置き去りにされ死亡する事件があったのを受け、事故が繰り返されないよう、通園バスに置き去り防止安全装置を設置します。



車内点検中

Q いくら補助するのですか。
A 通園バス1台につき20万円です。

Q いつ設置するのですか。
A 国のガイドラインが示されれば、各子ども園と調整し、早期に設置します。

火災から住民の暮らしを守る

消火栓用の 消防ホース更新

370万円
消火栓のホースを点検した結果、今回は160本を更新します。

Q いつ判明したのですか。
A 消防団が消火栓のホースの一斉点検をして分かりました。残りのホースの更新はいつですか。

歳出 11・12月補正予算

款	11月	12月	補正後の額
総務費	2億790万円	791万円	21億4278万円
民生費	1107万円	5942万円	36億3417万円
衛生費		5090万円	10億4288万円
農林水産業費	1億7803万円	3205万円	10億9735万円
消防費		433万円	5億2633万円
教育費		1106万円	11億7146万円
歳出合計	3億9700万円	1億6567万円	133億286万円
特別会計		2億125万円	65億9051万円
公営企業会計	483万円	5021万円	32億2043万円

*予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

賛成討論

A 通園バスの安全対策と子育て支援が充実
国の4年度第2次補正予算に伴い、保育園などの通園バスの置き去り防止装置の設置と出産・子育て応援交付金事業で妊娠から出産までまでの伴走型相談支援と経済的支援を実施するものです。

A 次年度に交換する予定です。

子ども園に光熱費の高騰対策

308万円
物価高騰の影響を受けている子ども園などに、光熱費や食糧費の価格上昇分の一部を支援し、保育施設の継続・安定的なサービス提供を支援します。

Q 認定子ども園だけが対象ですか。
A 小規模保育事業所や認可外保育施設も対象です。

新ごみ処理施設を有効活用

7050万円
新ごみ処理施設から余熱を活用した農業施設を計画しているために測量します。

Q 徳畑地内の農地をどのように活用するのですか。
A この土地に農業施設を建設する予定で調整しています。

反対討論

少しでも 利用料を取るべき
「回収エネルギーの利用は、経済性も十分考慮した上で、発電・場外余熱利用などを含め、利用することを基本方針とする」と言いながら、無償で提供することは納得できません。少しでも利用料を取るべきです。

賛成討論

物価高騰対策に 生活応援
藤本一昭
住民全員に5千円分の商品券給付事業、住民税非課税世帯などへ5万円の給付事業が予算化されており、地方創生臨時交付金などを活用しての住民への経済的支援策であり、生活応援になるものです。

第117回 多可町議会臨時会 賛否の公表 (全員賛成の議案は除く)

番号	案件名	足立吉継	藤原清勝	市位裕文	大山由郎	橋尾哲夫	内橋志郎	清水俊博	門脇保文	吉田政義	日原茂樹	藤本一昭	廣畑幸子	門脇教蔵	笹倉政芳
議案第65号	令和4年度兵庫県多可郡多可町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席。賛否同数の場合は、笹倉議長が裁決します。

補正

みんなでお考えよう

議会改革

議会改革シンポジウム



熱き思いを語る

4人のパネリストによるパネルディスカッションでは「議会改革とはいったいなんなのか」土山先生を交えて活発な議論が交わされ、住民が議会とのつながりを持つ良い機会となりました。

明日の多可町の姿を語る

後藤高広さん
5年後、10年後、20年後のことを考えて、住民に寄り添ってほしいです。議会主導で児童養護施設を誘致してほしいです。住民と意見交換をしてみたいです。

田畑俊浩さん
議員報酬の必要に応じての見直し、休日、夜間議会の開催、次の世代のリーダーを育てる仕組みを作ってほしいです。

藤岡啓志郎さん
政策も大事ですが、いろいろな面で議会にも関心を持ってもらえるよう、教育にも力を入れてほしいです。

山本早希さん
男女共同参画の中で女性も変わらなければいけないし、議会も意識を変えてほしいです。議会へ傍聴に行ける取り組みも考えてほしいです。議会を変えるには自分たちも変わらなければいけないので、そんな場をつくりたいです。

住民と議会の「もやいなおし」を考える

多可町議会では議会改革の一環として、住民の皆さまに議会への理解を深めていただき、身近で開かれた議会にすることを目的に、法政大学教授の土山希実枝先生を講師に迎え、11月4日（金）にみんなでお考えよう「議会改革」と題したシンポジウムを開催しました。

基調講演で土山先生は住民と議会の「もやいなおし」を考えると題して議会の役割、議会と行政、住民との理想的な関係性を5つのテーマで話されました。

- ① 住民と議会の間にあるもの
- ② 自治体の役割、議会のごと
- ③ 議会が「信頼される」ということ
- ④ 自治体と「政策・制度」と住民の「いま、そこにある危機」
- ⑤ 政策議会と住民の関係性を再構築する



住民と議会の間には横たわる「無理解」を解消する難しさや、議会に必要なの？という素朴な疑問に対する答えの難しさを話されました。

また、議会が「信頼を得る」「信託・負託に応える」ということや、みんなが満足することは不可能でも、満足しなくても納得することはできる議会を作るべき、住民のための議会をいかに作るかなどを講演されました。

議会への思いの丈をぶつける



活発な意見交換

基調講演の後、参加者3人ずつでグループワークを実施し、どんな議会だったら良いかという意見を活発に出し合ってもらいました。

主な意見

- 議員の質の向上。このような機会をもっと持つてほしい。
- 行政からの議案に対し、的確に判断ができる議会（ノーと言える議会）。
- 女性、若い世代の議員が活動できる環境づくり。
- 議員と住民の座談会（語ろう会）を開催されたら良いのかと思います。
- 議会は決定権があり、審議審査を尽くすために必要な議員定数はどれほどか、十分に議論して決定していくプロセスこそが重要です。

シンポジウムに参加しての意見

● 今回のシンポジウムは、住民が議会の活動を知る良い機会となったことに感謝します。

● 意思決定の過程を住民に見えるようにしてほしいです。委員会のたかTV、YouTubeでの発信と議会広報でもっと過程の見えるようにしてほしいです。

● 意見を聞く努力と勉強をしてほしいです。

● 今回参加して無理解が少し理解に変わった気がします。パネリストの皆さんが若くて活気があったので、議員さんになって改革してほしいと感じました。

● 議会に関心を抱いてもらうためにも高校生議会ではなく、中学生議会を開くべきです。



議会の取り組み

議会の活動を伝え、住民との関係を構築するために「議会はなにをやっているのか」をより積極的に伝えなければなりません。

そのために、議会アンケートをとり、シンポジウムを開催しました。

春からは頂いた多くの意見をもとに、皆さまのもとに向いて議会報告会を開催し、意見交換会をします。議員報酬や議員定数、議会改革への意見を伺いに参ります。

議会改革

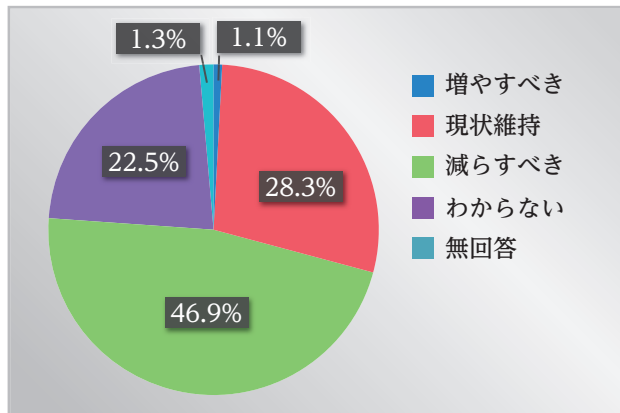
あなたの声を聴かせて

多可町議会では、議会の活性化と議員の定数、報酬などを調査研究するため、議会改革推進部会を設置し、議会基本条例の見直しや議員定数・議員報酬のあり方などを検討しています。

このようなことから、多可町議会の更なる議会改革を進めるために、住民の皆さまのご意見をお伺いし、令和4年6月から7月にかけてアンケートを実施しました。

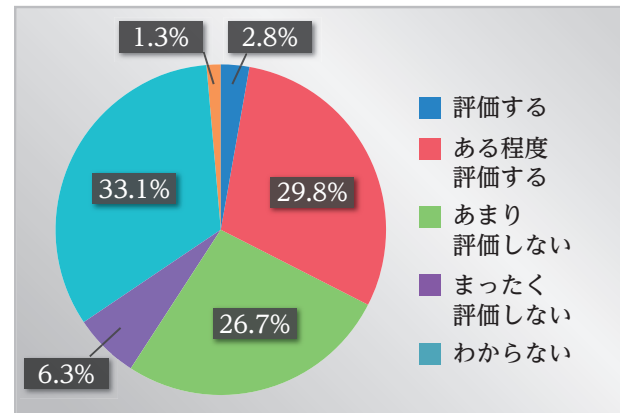
町内在住の18歳以上の人を無作為に1500人抽出し、書面またはWebで回答していただきました。
回答率42.7% (640人/1500人)

どうする議員定数 (14人)



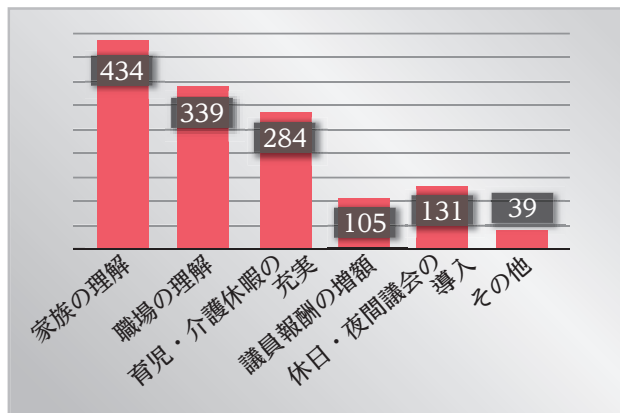
約半数の人が減らすべきとの回答。しっかりと向き合い真剣に議論する数値と考えます。

議会は評価されているのか



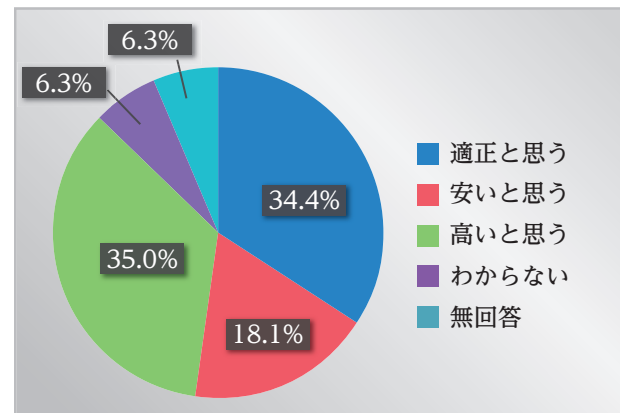
あまり評価しない、まったく評価しないが33%なので、評価する、ある程度評価するとほぼ同等です。厳しく見ると評価されていないかも。

なり手不足解消・女性や若者の参加は



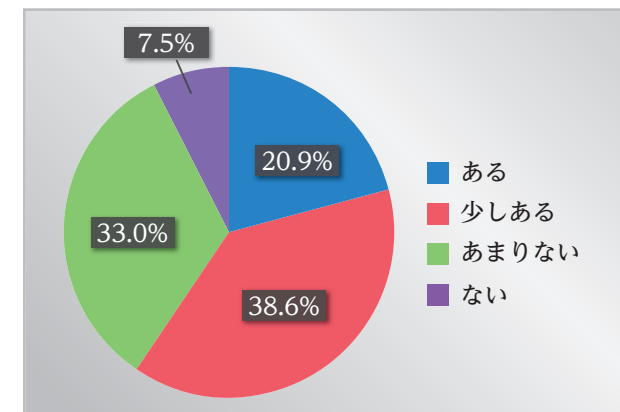
男女問わず家族の理解が大切です。休日、夜間議会はこれから検討する必要があります。特に報酬が少ないために若い人たちが立候補しにくいのが問題です。

議員報酬 (21万5千円) は安いのか



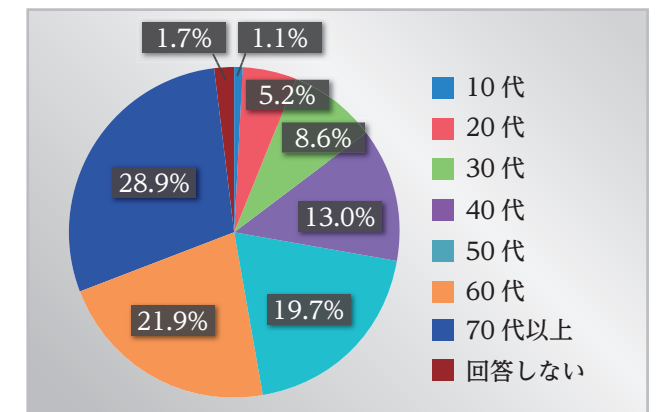
実際今の金額で議員になろうと思う若い世代はほとんどいないようです。何をもって報酬が適正なのか、安いのか、高いのか分析が必要です。

住民は議会に関心があるのか



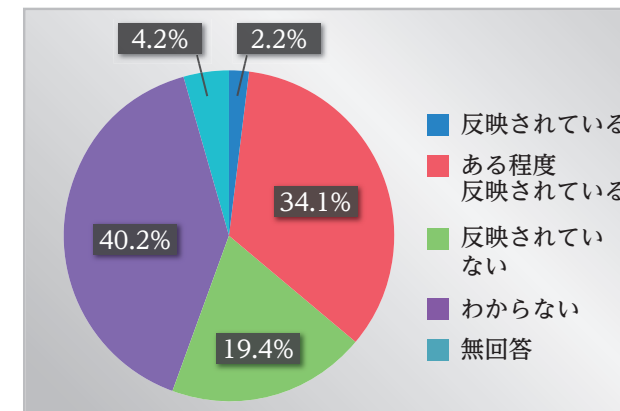
ある、少しあるが約60%。余りない、ないが約40%。少しある、あまりないの人に、関心をもってもらい取り組みが必要です。

回答者の年齢



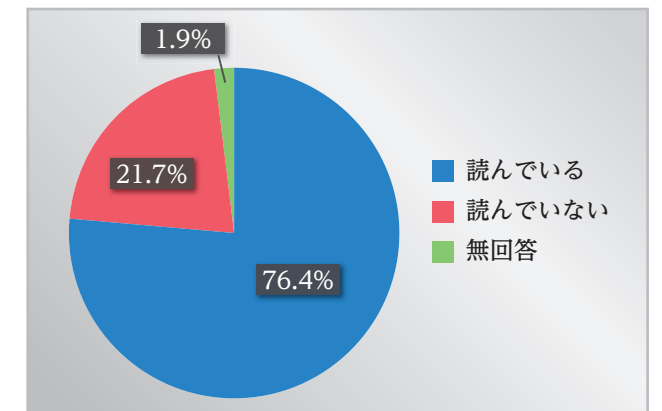
40代以下の若い人の意見をいかに吸い上げるか、特に10代や20代の意見をこれから反映していくのが、大事なポイントになると思われます。

住民の声、届いているのか



わからないの回答が40%を超えています。関心がないのでわからないのか、施策の情報が伝わりにくいのが疑問に思います。住民の声を反映するのは議員の大きな使命だけに、検討課題です。

議会だよりは読まれているのか



3/4以上の方が読んだことがありますが、さらに読んでもらえる工夫が必要です。

議会アンケート自由意見分類集計

分類別	件	分類別	件
住民目線での施策の提言を	64	子育てダントツ多可町を目指せ	10
議会・議員の活動が見えるようもっと情報発信を	57	効率のよい公共交通を	7
議員定数と議員報酬を見直すべき	44	地元の事ばかりでなく町全体を見て	6
住民の意見を聞く場を設けて(特に女性・若者)	32	国政ばかりでなくもっと世の中目線での活動を	22
女性議員や若い議員を増やすべき	31	役場職員も丁寧な対応を	6
行政と協働で若者流出を止めるような人口対策を	21	男女共同参画の推進を	5
若者が立候補しやすい報酬など環境の整備が必要	16	無投票はいかん!	1
やる気・意欲のある議員を	29	人生最後まで「公」でみて	1
報酬に合うだけの議員の仕事を	21	議員への感謝・激励	5

住民の皆さまが議会や議会制度をどのように捉え、また今後どのような町づくりを望んでいるのか、これまでの議会の活性化や今後の議会のあるべき姿を分析し、多可町議会の活性化に取り組んでいきます。

議会アンケートの詳細は右記のコードからご覧ください。



大山由郎 議員

Q. きょうだい児と家族を支援せよ

A. 集う場所や仕組みづくりを検討



みんな同じ

Q 親が安心して低年齢期の障がいのある子どもと、その兄弟姉妹である「きょうだい児」の子育てに取り組める支援が必要であり、障がい差別を考慮した支援も大切です。

町長 こども園で保育士を増員して受け入れています。また、子育てふれあいセンターでは、職員が対象児の様子を見ながら臨機応変に対応し、親がゆっくりと関わられる時間を提供するよう配慮しています。

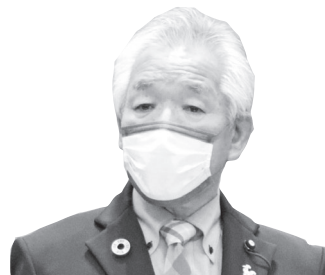
そして、放課後等デイサービスなどでの支援もしています。

Q 親や家族の悩み、きょうだい児の不満や不公平感、思春期の対応など、悩みに応じた支援が必要です。

町長 親の悩みの相談は「多可町子ども家庭総合支援拠点」で対応しています。また、家族が抱える悩みや不安など同じ立場の人が情報共有できるような集える場所の構築、仕組みづくりも検討します。

Q. 白川教育基金を有効に使い

A. 意向に添って検討する



門脇教蔵 議員

Q 平成29年12月に中区出身の白川良一さんから、町に5千万円の多額の寄付がされました。



白川さんの思いを形に

今後どのように有効に活用されるのですか。

町長 現在、多可町は「子育てするならダントツ多可町」を合言葉に子育て支援を強力に進めています。白川さんの意向に添って有意義に検討していきます。

Q コロナ感染の影響で、子どもをお持ちの親から、子どもがバイト

トができず親もバイトもパートも断られてと悲鳴が聞こえています。白川基金を有効に使うべきでは。

教育総務課長 高校入学時には、制服や教科書などに加えて今年度から1人1台のコンピュータの購入が必要で、多額の費用がかかっています。

進学の際に一時金的な支援をするなど、白川さんの意向に添った有意義な活用方法を検討します。

ここが聞きたい!!

議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

議会だよりでは、紙面の都合上、1人1問の質問と答弁を要約して掲載しています。
熱気あふれる発言の全ては、各議員の二次元バーコードからご覧下さい。

質問議員	質問要旨	掲載ページ
大山由郎	きょうだい児と家族を支援せよ	11
門脇教蔵	白川教育基金を有効に使い 認知症の取り組みは（未掲載）	
廣畑幸子	おくやみハンドブックの作成を	12
橋尾哲夫	旧町時代の看板の確認を 薪ストーブなど購入に補助金を（未掲載） 高齢者施設の確保は（未掲載）	
吉田政義	10年後の多可町の農業を問う	
藤本一昭	タクシー運賃助成制度を 出産・子育て応援交付金事業の取り組みは（未掲載）	13
市位裕文	介護住宅改修を受領委任払いに	14
門脇保文	南玄関口の道路整備を エネルギー再利用計画は（未掲載） ニュースキャンの導入は（未掲載）	
内橋志郎	第2期多可町総合戦略はいかに 令和5年度当初予算編成方針は（未掲載）	
清水俊博	道の駅のさらなる活性化を 高齢者の移動手段確保は（未掲載）	15
藤原清勝	若者が集まるスケボーの町へ 旧統一教会被害者住民相談の対応は（未掲載）	16
足立吉継	消防団員の報酬を改正せよ	17
日原茂樹	通園バスの安全対策は万全か 診療所のサイバーセキュリティ対策は万全か（未掲載）	



吉田政義 議員

Q. 10年後の多可町の農業を問う

A. 活力ある営農の確立が必要



農機具は高い

Q 農業がかかえる大きな問題は、「高齢化と後継者不足」です。十分な収益がない、初期投資額が高い、理想的な農地の確保が難しい、維持費が重くのしかかるなどの理由で新規農業の壁が高いです。また、50年近く実施された「減反政策」のため、農家自身の経営判断で米の生産などができるなくなり、自由な発想ができていません。10年後の多可町の農業は、高齢化や後継者不足で離農される人や

耕作放棄地が増えることが予想されます。**副町長** 農業が将来にわたって持続できるように、一つ目は経営体の法人化や農地の集積、集約化による生産体制の強化。二つ目は基盤整備やスマート農業の導入での省力化や高品質化。三つ目は消費者ニーズに寄り添った高収益作物の導入や、ブランド力の向上など、活力ある農を確立していくことが必要と認識しています。

Q. タクシー運賃助成制度を

A. 地域公共交通計画を見直す



藤本一昭 議員

Q 高齢者の足の確保のために福祉タクシー券を活用しています。しかし、券の追加交付はできません。その上タクシー事業者の経営は厳しい状況です。タクシーの利用促進を兼ねてタクシー料金の運賃割引制度の導入で事業者を活用すべきです。

町長 多可町も、ぜひとも早期にこの制度を取り入れるべきです。地域公共交通として、バス、タクシーがあります。地域公共交通の方向性と具体的な施策を示す第2次多可町地域公共交通計画の策定に着手しています。住民・タクシー利用者のアンケート調査などの結果を参考にして、元気に外出ができる公共交通体系の構築を目指します。

美作市タクシー利用補助

美作市タクシー利用補助事業とは…
補助対象の方がタクシーを利用する際に、料金の一部を市が負担することで、公共の交通機関の利用が困難な方の移動手段を確保する事業です。

対象者 美作市内にお住まいで、条件に該当する人
以下の条件の どれか一つでも該当すれば 補助の対象になります

- ・65歳以上の方で、運転免許を保有していない方
- ・要介護1以上の認定を受けている方で、運転免許を保有していない方
- ・身体障害者手帳の交付を受けた方で、運転免許を保有していない方
- ・療育手帳の交付を受けた方で、運転免許を保有していない方
- ・精神保健福祉手帳の交付を受けた方で、運転免許を保有していない方
- ・特定医療費(指定期間)受給者証の交付を受けた方で、運転免許を保有していない方
- ・母子健康手帳の交付を受けた方(ただし、出産予定日の1年後まで)
- ・運転免許証自主返納カード「おかや愛カード」の交付を受けた方



廣畑幸子 議員

Q. おくやみハンドブックの作成を

A. 次年度の早い時期にする



Q おくやみハンドブックとは、家族が死亡されたとき、遺族がさまざまな手続きをスムーズにできるよう分かりやすく書かれた冊子のことです。いざというとき、心の余裕も無いまま時間が過ぎていくことも多いと思います。高齢者の一人暮らしや夫婦のみの世帯が多い多可町です。手元があれば、用意できるものなどいざというときの助けになります。ぜひ作るべきです。

町長 ご遺族の手続きは多岐にわたり、大変負担であることは認識しています。現在は、死亡届提出時に簡潔にまとめたチラシを配布しています。終活用のハンドブックの作成を前向きに検討します。**Q** いつ頃の作成を考えていますか。また配布場所は。 **住民課長** 次年度の早い時期に作成します。配布場所は両プラザも考えます。

Q. 旧町時代の看板の確認を

A. 看板の管理は各集落に依頼



橋尾哲夫 議員

Q 多可町は平成17年11月1日に3町が合併し18年を迎えています。しかし、いまだ中町、八千代町の看板が残っており、中区は不法投棄防止、八千代区は不法投棄禁止の看板が旧町のままです。中区は翠明湖周辺、八千代区は柳山寺集落です。加美区は合併後、新しい黄色の看板が設置されています。

町長 旧町名の看板などは、合併後に順次修正し、老朽化したものは撤去してきました。各集落では、旧町時代から不法投棄防止運動やクリーンキャンペーンなどに大変熱心に取り組んでいただいております。ご指摘の不法投棄看板も、集落からの要望があれば、北播磨県民局の補助金事業などを活用して順次新しいものに交換していきます。



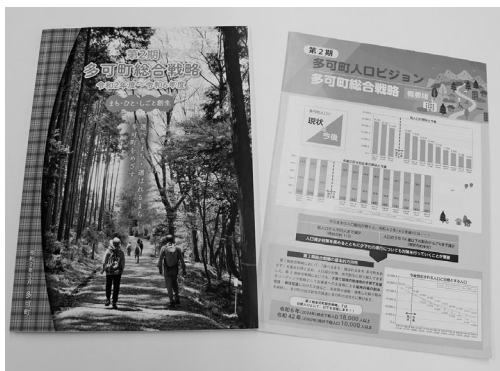
こんな看板見つけました



内橋志郎 議員

Q. 第2期多可町総合戦略はいかに

A. 総合戦略で人口減少が緩和



総合戦略

Q 多可町総合戦略は、人口減少対策、地域創生を進めるための計画です。期間は、2年度から6年度の5年間で

町長 実施体制は企画秘書課が取りまとめ、多可町創生検証委員会

Q. 道の駅のさらなる活性化を

A. 道の駅ファン拡大に努める



清水俊博 議員

Q ドライバーなどの休憩施設として整備された「道の駅」。近年は地域の特産物や観光資源を活かし、進化を



お客さまをお待ちしています—杉原紙の里—

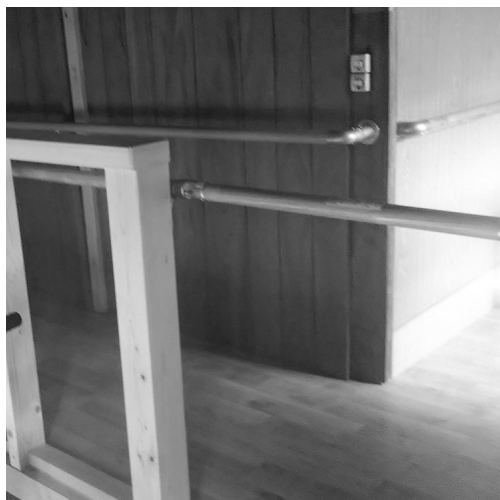
町長 単なる休憩施設ではなく、地域創生・観光の拠点として、地元集落や関係機関と連携し、交流人口の増加に向けた取り組みを進めています。



市位裕文 議員

Q. 介護住宅改修を受領委任払いに

A. 実施を検討



これで安心

Q 介護を考えるとき、住宅改修は必要です。改修には介護保険から住宅改修費が支給される

多可町は償還払い制度です。受領委任払い制度は県内の6割の市町が実施しています。

Q. 南玄関口の道路整備を

A. 長期的な課題



門脇保文 議員

Q 県道143号三室バイパスの開通で、加美区には信号なしで入



未来予想図

町長 いずれも多可町の南玄関口としての機能や防災の観点から、まちづくりに寄与しますが、西脇市や加西市の理解と協力が不可欠です。



日原茂樹 議員

Q. 通園バスの安全対策は万全か

A. 早期の安全装置設置を目指す



5歳児が安全訓練

静岡県のごとも園で、9月に3歳の女児が通園バスに置き去りにされて、熱中症で亡くなるという大変痛ましい事故が起きました。この死亡事故を受け、政府は保育所や幼稚園、こども園などのバスに、来春から、安全装置の設置を義務付けるようにしました。

多可町のこども園ではバスを降り降る際、園児の人数や名前などを常時確認しているのですか。通園バスの安全な運行管理はどのように行っているのですか。
教育長 死亡事故を受け、国や県に先立ち、各園や運行委託業者に安全管理の徹底の再確認をお願いし、実施されました。5歳児にはクラクションを鳴らして知らせる訓練も実施してもらいました。バスに乗降の際は園児の人数や名前などが常時確認されています。国のガイドラインが示されれば、各園などと調整し、早期の安全装置設置を目指します。

議会を見よう

この機会に、ぜひ多可町議会公式ホームページをお訪ねください。過去の会議録やお知らせをご覧ください。

https://www.town.taka.lg.jp/takacho_gikai/



Facebookでは、委員会などでの議員たちの様子をご覧ください。



YouTubeでは、本会議での質問や発言をノーカットで公開しています。



一次回定例会の予定

3月定例会<本会議の日程>

初日	3月1日(水)	
2日目	3月14日(火)	
3日目	3月17日(金)	一般質問
4日目	3月20日(月)	一般質問
最終日	3月27日(月)	

- 質問内容などは3月10日に議会ホームページに掲載します。
 - 傍聴は役場4階へお越しください。
 - 請願・陳情の提出は2月14日(火)17時までにご提出ください。
- *ご不明な点は議会事務局にお問い合わせください。

照れるねひと褒め

わ たしの家族は、やさしく言ってくれた。何かにちよせんすればほめてくれる。とてもうれしくなる。パパ、ママ、妹、わたしの一番のだから。わたしもいろいろがんばるね。
(松井小 金高 柚珠)

あ りがとうは、まほの言葉。自分も相手も笑顔になる。家族や友達も笑顔になる。みんないっしょに助け合。まほの言葉で笑顔になる。本当にみんなありがとう。ありがとう。
(杉原谷小 藤原 鈴)

令和4年度人権作品集 「あおぞら」より



藤原清勝 議員

Q. 若者が集まるスケボーの町へ

A. 今後の研究課題です



木製スケートボードパーク

那珂ふれあい館のステージや駐車場で、春先初夏にスケボーイベントが開催されます。この主催者は、小野市で多可町内から購入した木材でスケボーセクションを製作してイベントをされました。町外の方が、多可町の森林自然の中でパリオリピックの正式種目のスケボーイベントを開催されます。

若者たちのスケボーカルチャーの新しい気流が多可町の未来発展につながるように考えることも必要ではないでしょうか。
町長 常設施設としては、木製であるが故の騒音の課題も多いように、今後の研究課題です。イベントは、大変ありがたいことです。定期的に開催されることで、その次のステップとして新たな町の形もあるのかなと思います。イベントが続きますように、ぜひ私も見学に行かせてもらいます。

Q. 消防団員の報酬を改正せよ

A. 段階的に対応



足立吉継 議員

5年度から西脇市消防団の基本団員の報酬が、国の示した標準額3万6500円に引き上げる機運が高まっています。財政的に厳しいのは分かりますが、団員確保にもつながる重要な課題ですので、せめて全国平均の3万9250円にすべきです。
町長 近隣では加東市と小野市が5年度から改正になることになっていますが、当町は人口規模に比べて団員の

定数が多いため、地方交付税算定の設定の2倍をはるかに超える団員数です。その上、交付税が全体的に減額されており、財政に与える影響が大きいので、5年度からの完全適合が厳しい状況です。さまざまな観点から早期の改正が必要である認識は強く持っていますので、団幹部と相談、理解を得ながら、段階的に対応していきます。



ガンバレ消防団

高齢化社会の問題を探る

文教ふくし常任委員会

令和4年11月14日・15日に老人クラブ連合会の各支部と懇談をしました。
連合会が抱える問題や高齢化社会に向けての心配事など、さまざまな意見を聞かせていただきました。



移動手段

- 近隣で買い物できる場所が少ないうえに、バスの便数が少なく買い物がしにくい。また通院も不便。
- タクシー券が少なくすぐに無くなる。

会員減少

- 仕事をしている人が多くなかなか入会しない。
- 草刈りや掃除が負担になってきている。
- 会員の減少で会を維持するのも厳しい状況。

補助金

- 使い方に制約があり活用に苦慮している。
- 実績報告を作るのが大変。

公共交通の環境整備を

会員減少の対策を

補助金の使い道の緩和と事務処理の簡素化を

町 へ 要 望 書 を 提 出



議会は老人クラブとの懇談会の意見をまとめ、町へ要望書を提出しました。
地域の老人クラブに参加して、近所の人と出会ってお話しをする、また皆さんと一緒に健康体操をすることが元気の源にもなると思います。
高齢化率の高い多可町です。いかに元気で暮らしていただけるか、不便と感じていることを議会として一つずつ減らす政策を考えていきます。

施設対策は万全か

総務まちづくり常任委員会

令和4年10月18日に、視察調査をしました。

どうする 空き施設

浄化センター統廃合で、旧轟・西山地区浄化センター（所在地：西山）は平成31年に、また清水地区浄化センター（所在地：清水）も令和元年に、それぞれ杉原谷地区浄化センター（所在地：門村）に接続工事が完了しました。現在は特定環境保全公共下水道事業として運営・管理しています。
旧施設は地元利用意向がなく、空き施設になっていきます。

Q 施設を取り壊さないのですか。

A 国の補助事業などで、耐用年数に達するまで取り壊しできないと考えています。

取り壊す場合は、町単独事業となり、耐用年数の残存相当分にあたる補助金返還が求められることとなります。
Q 利用方法は。
A 農機具などの資材保管場所などでの活用が考えられます。



防犯対策は万全か

大袋浄水場への不法侵入の対策、防犯・保全管理体制の強化のため、既設フェンス（高さ1.5m）に、有刺鉄線（高さ0.45m）の嵩上げを実施しました。

Q なぜ嵩上げするのですか。

A 何よりも住民の大切な「安心・安全」の飲み水を確保するのが重要です。万が一に備えて不法侵入などを未然に防ぐため実施しました。

Q その他の浄水場は大丈夫ですか。

A 加美区の轟、豊部、棚岩に同様の工事をしました。八千代区の赤坂、柳山寺の2か所ではフェンスの老朽化が



有刺鉄線で嵩上げ—大袋浄水場—

周辺施設の活用は

著しいため、フェンス本体の更新を含めて、有刺鉄線による嵩上げをする予定です。

Q 今後の予定は。
A 現地測量、用地測量、埋蔵文化財調査、造成設計、上水道設計をします。

5年度には農地法手続き、造成工事（道路、河川を含む）、上水道布設工事へと進みます。

建設予定地の徳畑地区の想定敷地面積約3.9haの現状を現地視察し、周辺環境の説明を受けました。

地元企業と意見交換

まちを
元気に

多可町企業懇話会と議会が令和4年11月17日、中コミュニティプラザ大会議室で「若者の人口流出対策」「外国人との交流」「地場産業の魅力」をテーマに4班に分かれグループディスカッションで意見を交わしました。



- 1. 若者の人口流出対策**
 - ・ 出産祝金100万円
 - ・ 低価格の住居を提供
 - ・ 飛び級可能な学校を設置
 - ・ 大企業並みの年収と休日の確保
- 2. 外国人との交流**
 - ・ 空き家の有効活用
 - ・ 外国人同士の連帯感を保つ
 - ・ 地域住民との信頼感を醸成する
 - ・ 日本語教室の充実
- 3. 地場産業の発展**
 - ・ 万博フィールドパビリオンの充実
 - ・ 播州織や山田錦発祥のPR
 - ・ 加古川源流の魅力を活かす

こんな考えができました

中小企業診断士の細川祐三氏の「自由な発想と相手の意見を否定しない」とのアドバイスもあり、活発な意見が交わされました。また、藤阪企業懇話会会長は挨拶で「一日ひと褒め」を企業の中に取り入れ、元気な町づくりに貢献したいと結ばれました。

モニターからのご意見

議会だより第68号の意見をいただきました。さっそく第69号の紙面づくりの参考にしました。ありがとうございました。



第68号

よかった点

改善点

表紙	微笑ましい1枚だなと思いました。神楽の迫力も伝わります。	キャプションの文字が読みづらいように感じました。色味・フォントの文字の見せ方に工夫がほしいです。
9月定例会	課題・評価が最初にあってわかりやすいです。	タイトルの根拠になるような内容が見えないように感じました。
高校生議会	カラーなので表情がイキイキ見えます。質問の内容をテーマ別に絞っているのが良いと思います。	もっとはじけたデザインでもよかったです。
一般質問	各議員さんの考え方や思いが垣間見れる大切なページだと思います。	未掲載項目が多いです。紙面を工夫すればもっと掲載できると思います。
委員会	二次元バーコードを取り入れ、説明責任を果たそうとする意欲を感じました。	生涯学習まちづくりプラザと統合中学校の計画、取り組みや進捗状況を継続して伝えてほしいです。
その他	どのページにも写真があって、目で見て分かる工夫がされています。	紙面作りに遊び心をどんどん取り入れてほしいです。

住民の声を形に

公共施設等計画に関する特別委員会

令和4年12月5日、公共施設等計画に関する特別委員会を開催し、生涯学習まちづくりプラザと統合中学校の進捗状況などの説明を受けました。

誰もが集いやすい場に
生涯学習まちづくりプラザ

未来ある子どもたちのために
統合中学校

- ① 生涯学習**
 - まちづくり委員会
これまで4回開催
 - 建設に向けての計画やスケジュールの情報共有
 - どういう施設にするかを、委員によるプレゼンテーションやグループディスカッションを実施
 - 建設設計業務
請負業者が決定
(株)内藤建築事務所
大阪事務所
 - 設計の進め方
設計業務受注者と年内に案をまとめる
住民ワークショップを開催する予定



- 外観はいつわかりますか。
年内に案をまとめ、年明けに議会に説明する予定です。
- 工期は間に合うのですか。
資材不足で調達に時間はかかる可能性もありますが、7年度の完成を目指します。

- ① 開校準備委員会**
 - これまで2回開催
 - 検討内容ごとに専門部会を設置
 - 部会で協議した内容を委員会報告
 - 総務部会 制服のアンケートを実施
 - 通学部会 通学路の現状・通学路と危険箇所の検討

- 制服のアンケートではどのような意見がありましたか。
多様な性に配慮した制服や、今よりも安価で家庭で洗濯できるものがありました。
- いつ頃までに決定するのですか。
令和5年の夏頃には決定したいと考えています。
- 建設設計業務
発注計画
プロポーザルで業者を決定予定
- どの程度の規模を想定していますか。
3階建ての校舎と体育館を建設する予定です。
- 業者が決定するのはいつ頃ですか。
令和5年2月に決定したいです。
- 町にとって重要な施設が建設に向けて進んでいます。
それぞれ委員会を立ち上げ、住民の声を反映させるよう町も取り組んでいます。
- 議会でも皆さんの声を届けしっかりと議論し、住民が誇れる施設となるように努めています。



建設予定地-アスバル周辺-

地域に貢献

住み慣れた所で安心して暮らせる地域づくりのため「的場支え合う会」を立ち上げられています。会長の窪田政幸さんと事務局の棚倉尋之さんにお話を伺いました。



(左) 窪田政幸さん (右) 棚倉尋之さん

安心して暮らせる地域づくりを目指して

Q きっかけは何ですか。

A 平成26年に愛育会を脱退しましたが、高齢者や独居老人が増えており、日々の生活に支援を必要としている世帯が潜在しています。見守りや支え合う活動に取り組んでいます。

Q どんなメンバー構成ですか。

A 集落役員、農会、村づくり協議会、老人クラブ、消防団、婦人会、民生委員、有志などです。

Q どのような活動がされていますか。

A 訪問活動、困り事相談、庭木の剪定や草刈り作業、外出支援事業、手助け活動などです。

Q 外出支援事業を詳しく教えてください。

A 買い物や通院など交通弱者の外出を支援する事業です。利用は町内や西脇市内で、月3回以内です。通院は片道が基本です。令和2年9月から始めて75回の実績があります。申し出は3日前まで、心ばかりの負担が必要で。

Q 手助け活動は、どんな内容ですか。

A 業者などに頼めない簡単な作業が主です。材料費などは実費をいただいています。

棚の修理、電気、水道関係の困り事、重い荷物の移動、支障木の



助かります

伐採、パソコン使用時の相談、その他簡単な手助けをします。

Q ボランティアは何人ですか。

A 外出支援事業は17人で、手助け活動は15人です。

「今後は今までの活動は継続していき、災害時の高齢者との連絡機能の強化や近隣集落との連携もしていきたいです。また、自分たちが支援を受けるまでの下地を作っておきたいです。」と弾んだ声で答えられました。お話を伺い、パワーをいただきました。

今回の表紙

新年恒例のかるた会が1月14日に多可町図書館で開催されました。

小学4年生から6年生対象の『百人一首』の部と、幼児から小学3年生までの『いろはかるた』の部のそれぞれで腕を競い合いました。みんな真剣な顔で頑張っていました。また保護者も応援に力が入り、会場は熱気に包まれていました。

お詫び

議会だより68号の裏表紙、あぐりガールで播州白水菜とキャベツの写真が実物と異なるものでした。

この記事により、不快な思いをされました岡野様、また全ての住民の皆さまに、心よりお詫び申し上げます。今後、このようなことがないように十分留意して編集作業に取り組んでまいります。

編集後記

今年の冬は、例年よりも寒さが厳しいですね。

日課で散歩をしていますが、何気なく眺めている道端の草や木々の様子からふとした変化を発見して、季節の移ろいを知らせてくれます。

議会だよりの編集作業を通じて、冬から春の訪れを感じながら、本格的な春の到来が待ち遠しい気持ちです。発行の頃は、梅だよりが届いているでしょうか。

(藤本)

議会広報編集特別委員会

委員長	吉田政義
副委員長	日原茂樹
委員	足立吉継
委員	市位裕文
委員	藤本一昭
委員	廣畑幸子
議長	笹倉政芳